

第12回 ESD大賞 募集要項

—Education For Sustainable Development Award—

Education For Sustainable Development (ESD) は、「持続可能な社会の担い手を育む」教育といわれています。持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材の育成が重要な課題となっています。

その人材育成のためには、ESD（持続可能な開発のための教育）が学校現場において正しく理解され、さらにそれに基づいた望ましい実践が普及されることが強く求められています。

NPO法人日本持続発展教育推進フォーラムでは、このESDの理念に基づく取り組みを積極的に実践する学校を奨励する「ESD大賞」を毎年実施しています。学校全体での取組み、地域社会とのつながり、地域の特色を活かすことを大事にした具体的な取組み、独自性のある取組み実践例などを広く募集いたします。

下記募集要項をよくお読みの上、奮ってご応募ください。

【主催】 NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム

【後援(予定)】 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、(株)教育新聞社、
(公財) ユネスコ・アジア文化センター、(公社) 日本ユネスコ協会連盟

【中央審査委員(予定)】

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム 理事

細谷美明（元全日本中学校長会会長）

北 俊夫（総合初等教育研究所評議員）

田村哲夫（元日本ユネスコ国内委員会会長、学校法人渋谷教育学園理事長）

濱野 清（前文部科学省初等中等教育視学官、広島県立教育センター副所長）

手島利夫（前江東区立八名川小学校校長、日本 ESD 学会前副会長）

齋藤英行（株式会社教育新聞社顧問）

岡山慶子（朝日エルグループ会長）

文部科学省 国際統括官付

【募集内容と実践研究対象】

「ESD大賞」設定の趣旨に基づいて、持続可能な社会の構築に向けて的確な行動ができる次代を担う人材を育てる実践研究事例の報告を募ります。

○実践研究の対象

小学校、中学校、高等学校におけるESDの実践事例報告であること。

- ① ESDの全体計画や年間指導計画の作成、または改善及び評価に関わる実践研究。
- ② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間に関わるESDの実践研究。
- ③ 学校経営、学年経営、学級経営に関わるESDの実践研究。
- ④ 学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ・部活動、学校行事に関わるESDの実践研究。
- ⑤ ESDにおける教材・教具の工夫や開発についての実践研究。
- ⑥ ESDにおける家庭、地域社会、行政、民間企業、関連する諸機関との連携に関する実践研究。
- ⑦ ユネスコスクールへの登録申請を検討している。

【対 象】

全国の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、小中一貫校、特別支援学校を対象とします。

【応募方法】

- 1) 応募フォーマットに必要事項を記入してください。
- 2) 実践研究の内容やねらいがわかる資料（年間指導計画、学習指導案、教材、活動写真）を同封してください。ただし、A4判で5頁以内。
- 3) 上記資料をE-mail、郵送（CD-R等）のいずれかでお送りください。応募資料は返却致しません。

【資料送付先・事務局】

NPO 法人日本持続発展教育推進フォーラム ESD大賞 事務局
〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 築地MFビル 26号館 5階
TEL：03-3545-3651 FAX：03-5565-4914 e-mail:info@jp-esd.org
担当：坂本

【スケジュール(予定)】

10月11日(月) 〆切(事務局必着) ※締め切りを延長いたしました。

↓ 審査

10月下旬 発表は、事務局から受賞校へのご連絡をもって代えさせていただきます

※ユネスコスクール全国大会/ESD研究大会にて受賞校を発表させていただきます

【教材の作成と配布(予定)】

受賞校には、実践研究事例の詳細を執筆していただき（B5判で各校3～5頁）、冊子にまとめ、ESDの優れた教材として、ホームページで公開させていただきます。

[顕彰]

応募いただいた事例の中から、中央審査委員の厳正な審査によって、優秀な事例を下記の通り顕彰いたします。

・文部科学大臣大賞	1校（すべての校種を対象）
・ユネスコスクール最優秀賞	1校（ユネスコスクールのみ対象）
・小学校賞	1校
・中学校賞	1校
・高等学校賞	1校
*ベスト・アクティビティ賞	1校
*スタートアップ賞	1校

副賞として電子ピアノ、プロジェクター他（カシオ計算機ご提供）を授与します。

*「ベスト・アクティビティ賞」とは

学校や地域の特性を生かしたオリジナリティのある活動、他の学校にも生かせるアイデアに富んだ取組を（一つでも）行っている学校に対して賞を贈ります。学校全体・教科横断等の広がりはこれから、という学校でも積極的にご応募ください。

*「スタートアップ賞」とは

ユネスコスクール加盟3年未満（加盟していない学校を含む）の学校のみを対象とします。現在の成果や実績よりも、活動内容や今後への期待を評価の重点ポイントとします。

[第11回 ESD 大賞受賞校とテーマ]

文部科学大臣賞	福島県只見町立只見中学校	校内のコンソーシアムの形成と多彩な体験活動・海洋教育の視点を入れた ESD 活動
ユネスコスクール最優秀賞	東京都八王子市立浅川小学校	児童が主体的に取り組むための課題解決プロセス「FIDS メソッド」の活用とカリキュラム・マネジメント
小学校賞	埼玉県久喜市立栗橋西小学校	カリキュラム・マネジメントによる学校教育活動の改善に関する研究～SDGs の実現を目指す ESD の取組を通して～
中学校賞	宮城県気仙沼市立階上中学校	持続可能な社会づくりを担う、東日本大震災の経験を活かした防災学習
高等学校賞	学校法人小松原学園 叡明高等学校	当事者意識を醸成するために SDGs を活用した総合的な探求の時間での取組
審査員特別賞	成蹊小学校・成蹊中学校	小学校では環境地図制作、中学校では演劇を取り入れた活動と、小・中学校で継続した主体的・対話的な取組
ベスト・アクティビティ賞	北海道羅臼町立羅臼小学校	世界自然遺産「知床」の資源を活かした海洋教育を中心とした教育活動
スタートアップ賞	千葉県八千代市立大和田南小学校	教育目標の再点検とカリキュラム・マネジメントを充実させるための組織づくり・学校づくり